

メールクライアントの SSL 対応設定マニュアル

1. 設定に必要な項目と設定値

教育学部サーバでのメールの送受信を SSL 対応させるには、使用するメールクライアントで、メール受信・メール送信それぞれ以下の値が設定されている必要があります。

メール受信

サーバ名: mail.p.u-tokyo.ac.jp ポート: 995

セキュリティ設定

 接続の保護: SSL

 認証方式: パスワード認証

メール送信

サーバ名: securemail.p.u-tokyo.ac.jp ポート: 587

セキュリティ設定

 接続の保護: STARTTLS

 認証方式: パスワード認証

以下、主なメールクライアントでこれらの値を設定する方法について説明します。

Outlook Express, Windows Mail, Windows Live Mail の場合 ⇒ p.2

Office Outlook の場合 ⇒ p.6

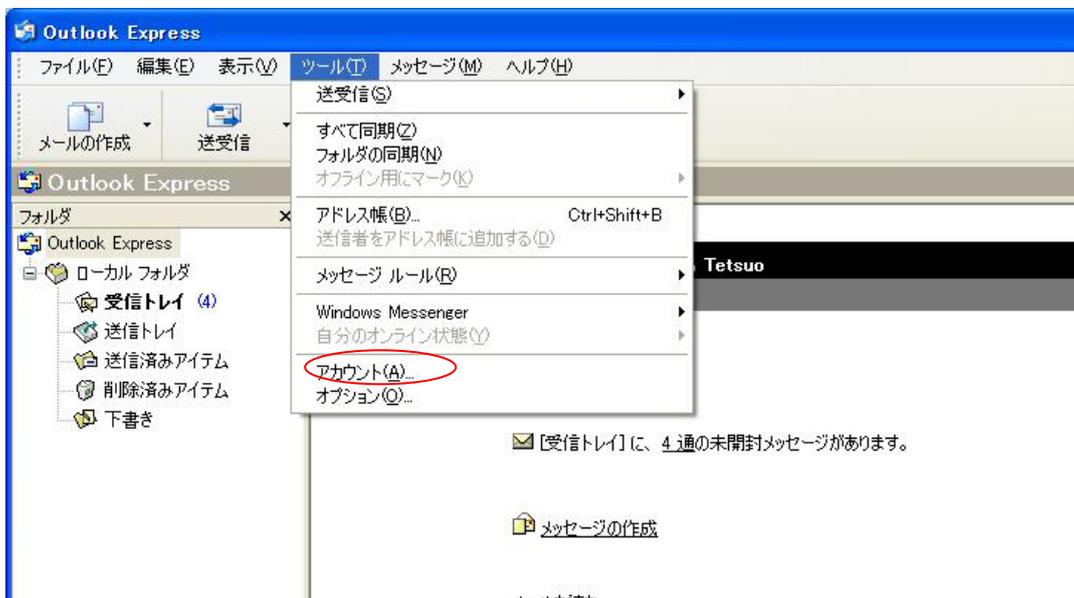
Thunderbird の場合 ⇒ p.11

AL-Mail の場合 ⇒ p.16

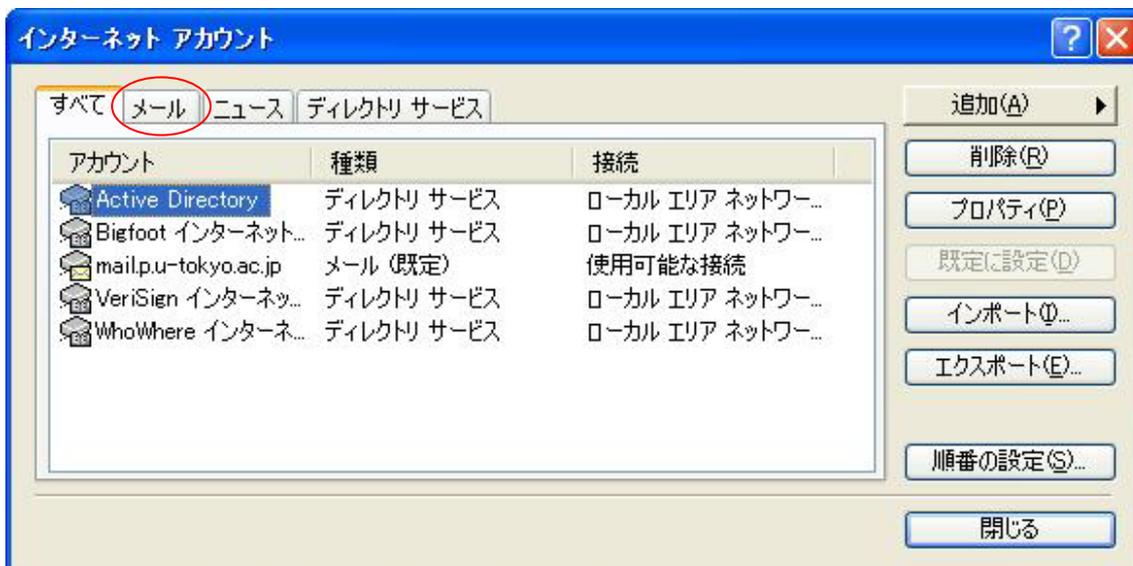
Mail (Mac OS X) の場合 ⇒ p.21

2. Outlook Express, Windows Mail, Windows Live Mail の場合

(a) メニューバーの「ツール」から、「アカウント...」を選択します。



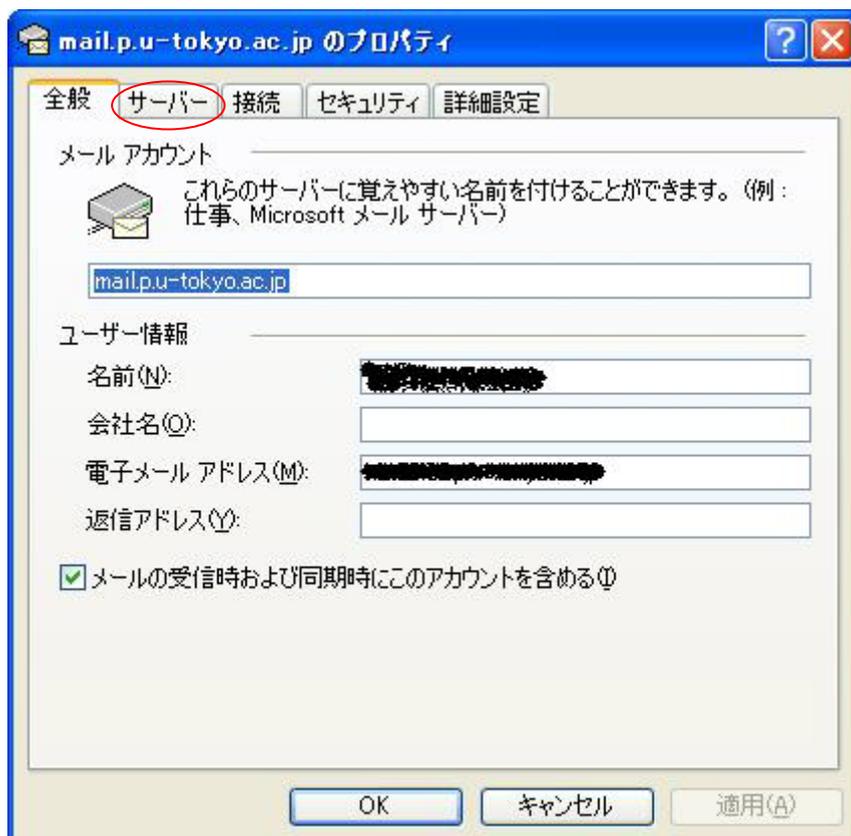
(b) 「メール」タブを選択します。



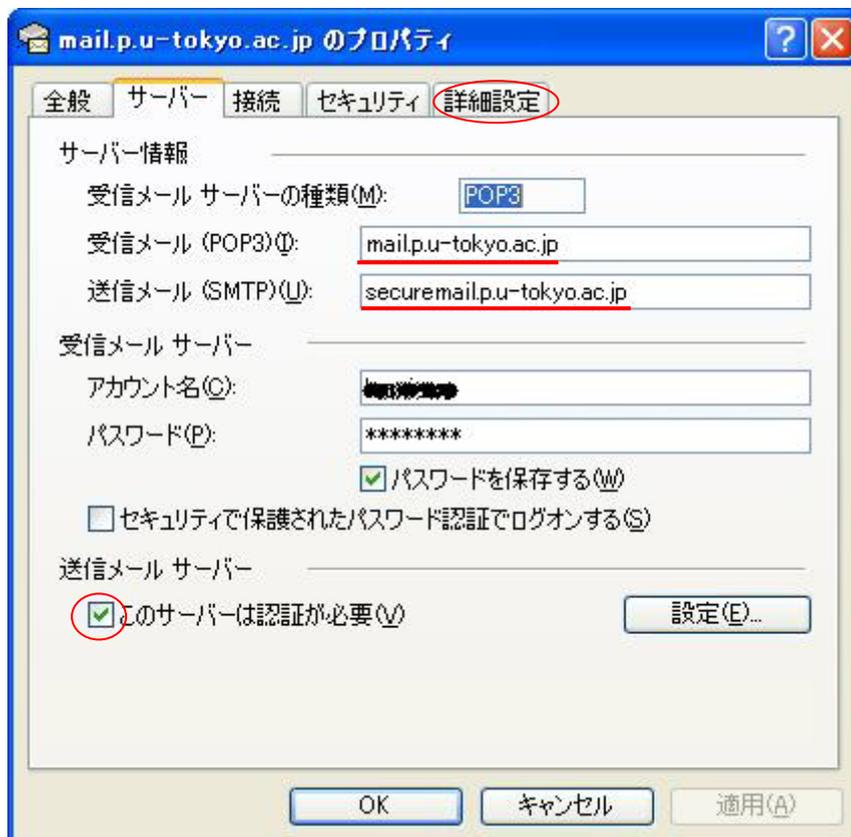
(c) 教育学部のサーバを選んで、「プロパティ」を選択します。



(d) 「サーバ」タブを選択します。



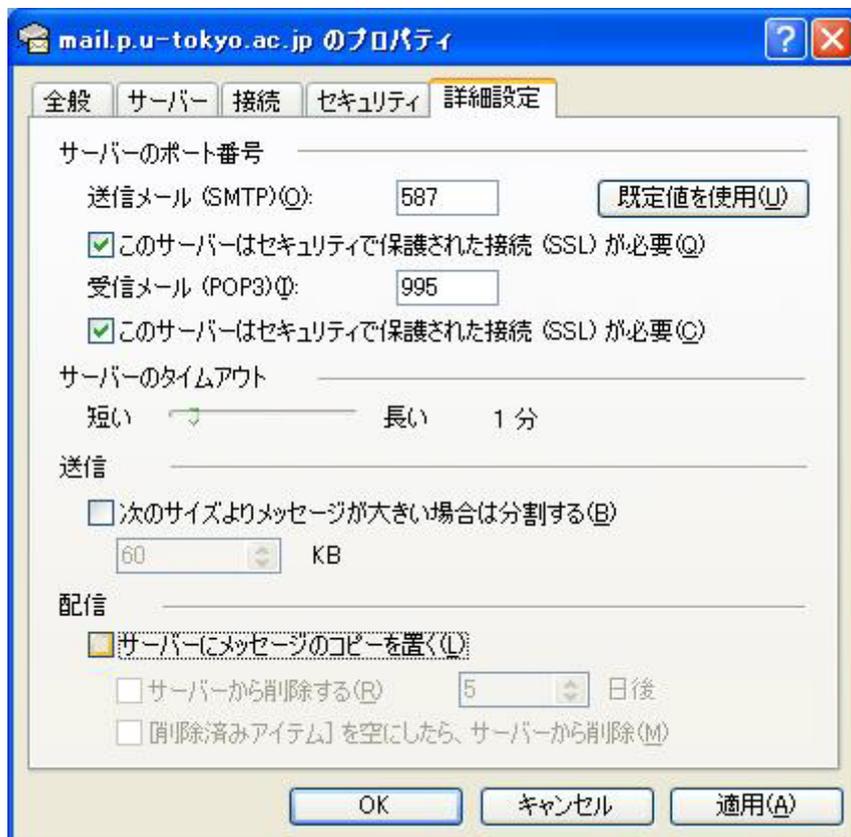
- (e) 「受信メール」を mail.p.u-tokyo.ac.jp に、「送信メール」を securemail.p.u-tokyo.ac.jp にそれぞれ書き換えます。また、送信メールサーバの、「このサーバは認証が必要」にチェックを入れます。



※ここでは、「セキュリティで保護されたパスワード認証でログインする」にはチェックを入れないでください。教育学部サーバでは、次で説明する別の方法でパスワード認証の接続を保護します。

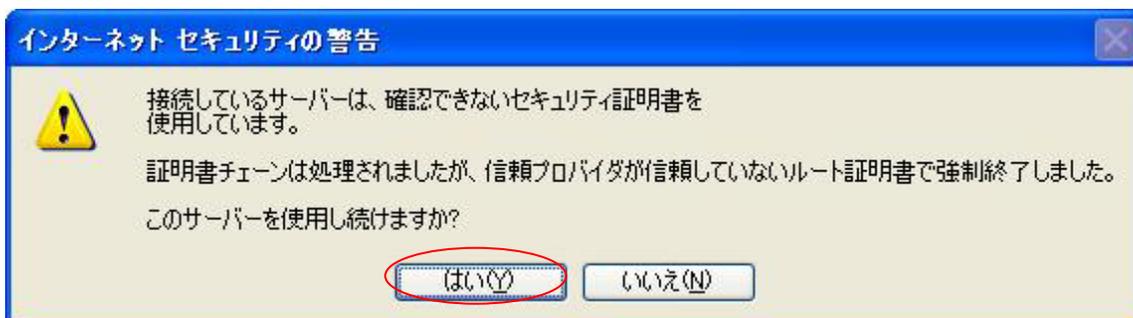
これらの設定を終えたら、「詳細設定」タブを選択します。

- (f) 送信メールで、「このサーバーはセキュリティで保護された接続 (SSL) が必要」にチェックを入れ、値を 587 に変更します。また、受信メールで、「このサーバーはセキュリティで保護された接続 (SSL) が必要」にチェックを入れ、値を 995 に変更します。



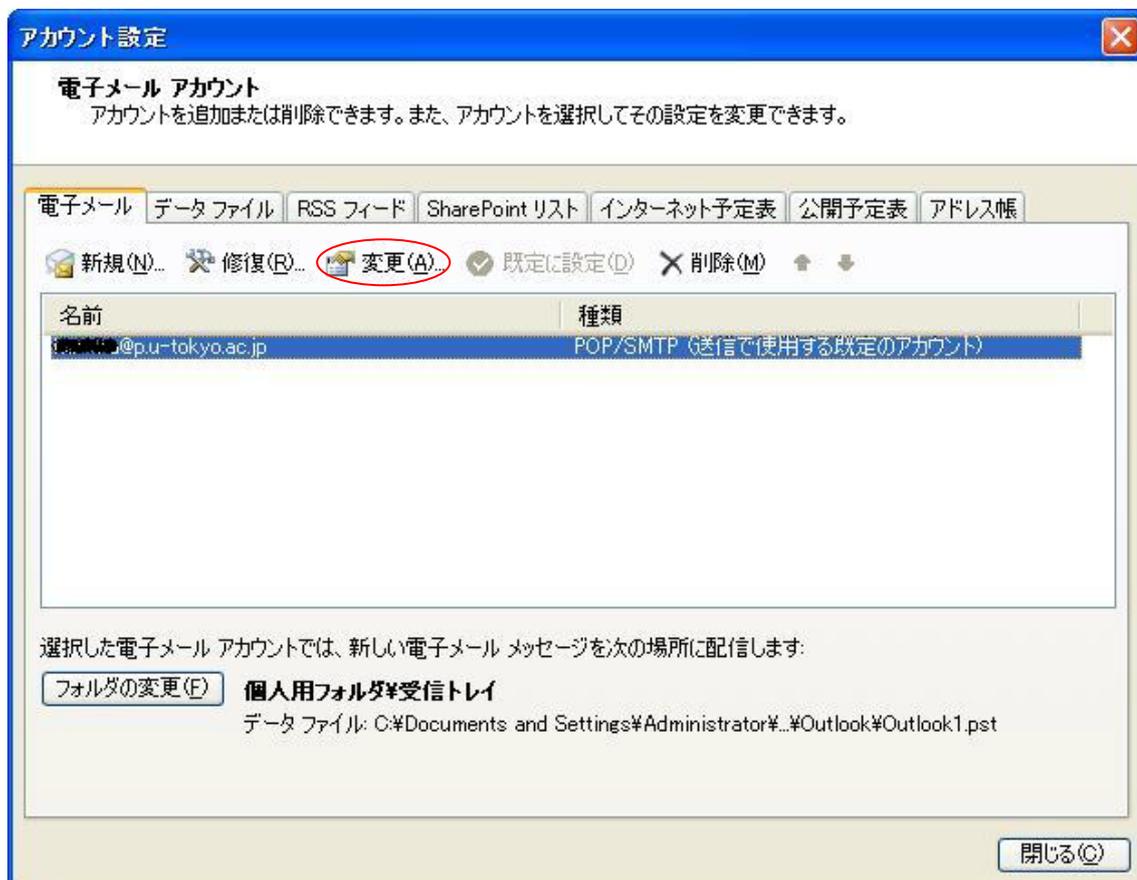
「OK」をクリックして、設定を終了します。

※接続時に、以下のようなセキュリティの警告が出ますが、「はい」を選択してください。現在、教育学部の SSL サーバ証明書が自己署名のためこのような警告が出ますが、皆様にとっては「信頼できるサーバ」ですので「はい」で答えて大丈夫です。



3. Office Outlook の場合

- (a) メニューバーの「ツール」から「アカウント設定」を選択します。以下のウィンドウが表示されるので、使用するアカウントを選択し、「変更」をクリックします。



- (b) 「受信メールサーバ」を mail.p.u-tokyo.ac.jp に、「送信メールサーバ」を securemail.p.u-tokyo.ac.jp に設定します。

電子メール アカウントの変更

インターネット電子メール設定
電子メール アカウントを使用するには、以下の項目をすべて設定してください。

ユーザー情報
名前(N): [REDACTED]
電子メール アドレス(E): [REDACTED]

サーバー情報
アカウントの種類(A): POP3
受信メール サーバー(O): mail.p.u-tokyo.ac.jp
送信メール サーバー (SMTP)(Q): securemail.p.u-tokyo.ac.jp

メール サーバーへのログイン情報
アカウント名(U): [REDACTED]
パスワード(P): [REDACTED]
 パスワードを保存する(B)

メール サーバーがセキュリティで保護されたパスワード認証 (SPA) に対応している場合には、チェック ボックスをオンにしてください(Q)

アカウント設定のテスト
この画面内に情報を入力したら、アカウントのテストを行うことをお勧めします。テストを実行するには [アカウント設定のテスト] をクリックします (ネットワークに接続されている必要があります)。
アカウント設定のテスト(T)

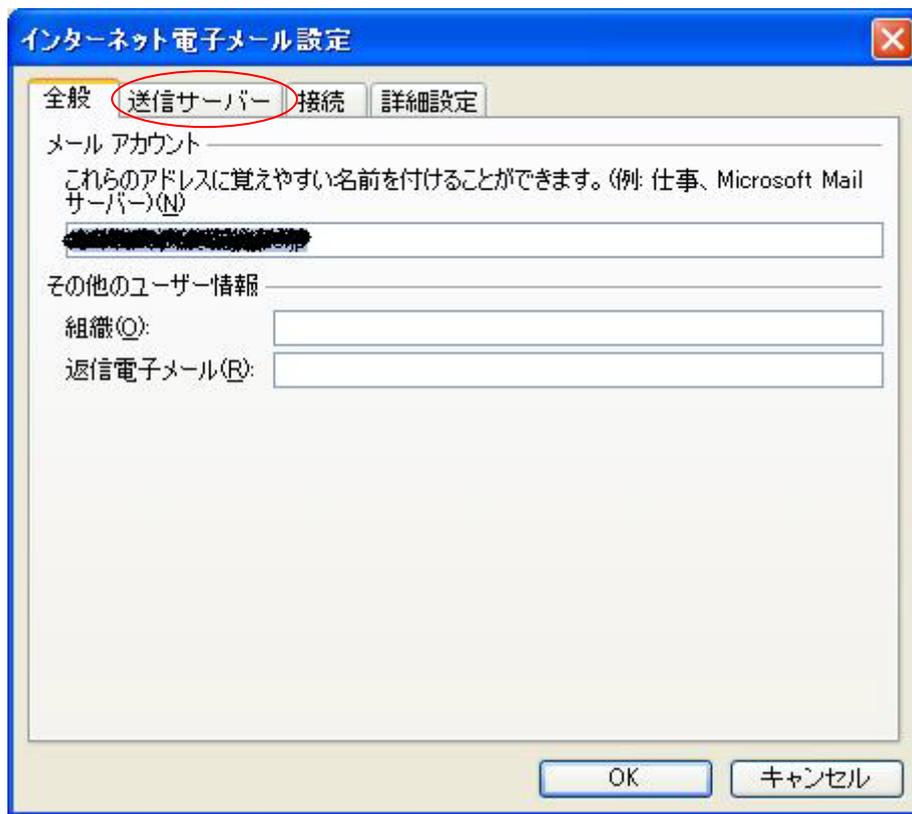
詳細設定(M)...

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

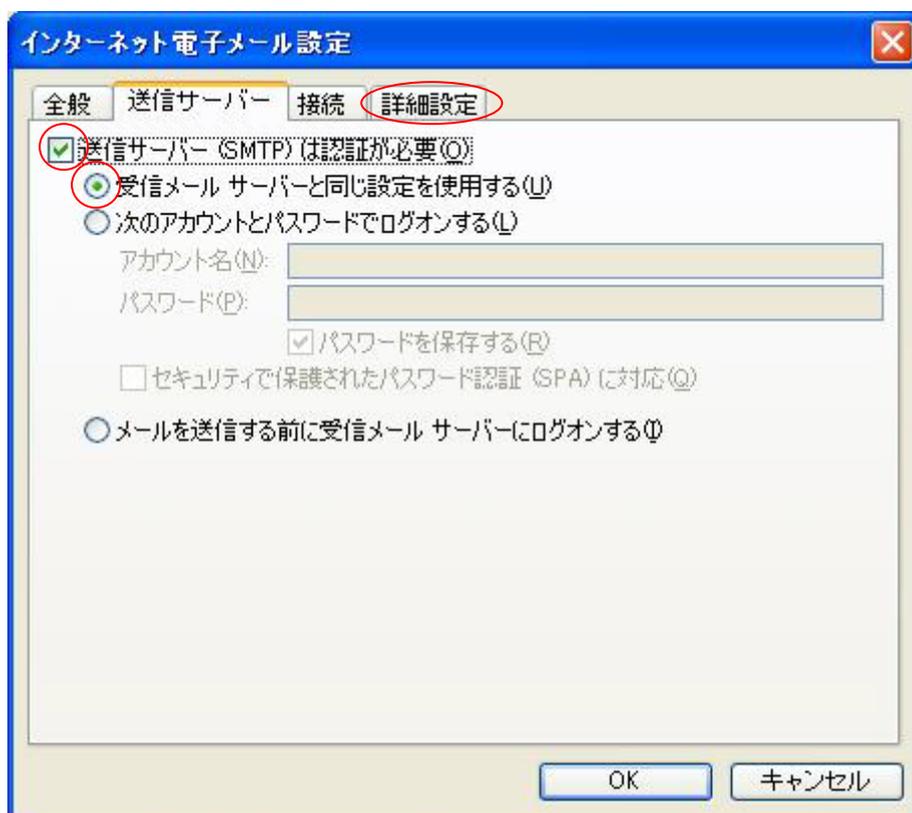
※「メールサーバがセキュリティで保護されたパスワード認証に対応している場合には、チェックボックスをオンにしてください」にはチェックを入れないでください。教育学部サーバでは、次で説明する別の方法でパスワード認証の接続を保護します。

これらの設定が終わったら、「詳細設定」をクリックします。

(c) 「送信サーバー」タブを選択します。

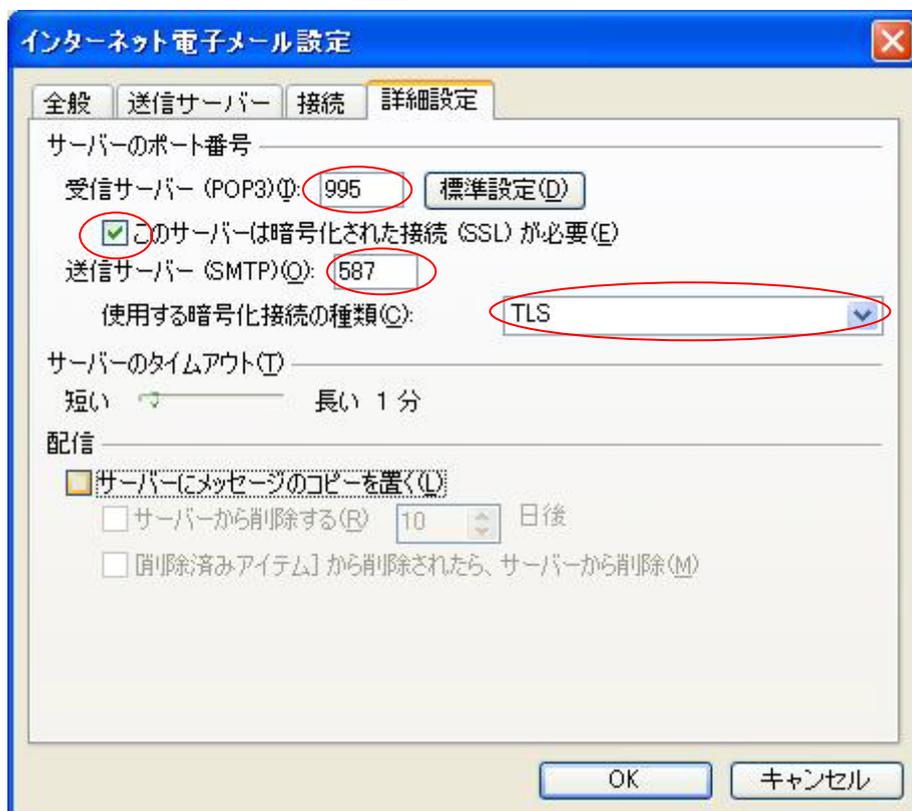


- (d) 「送信サーバー (SMTP) は認証が必要」にチェックを入れ、「受信メールサーバーと同じ設定を使用する」を選択します。



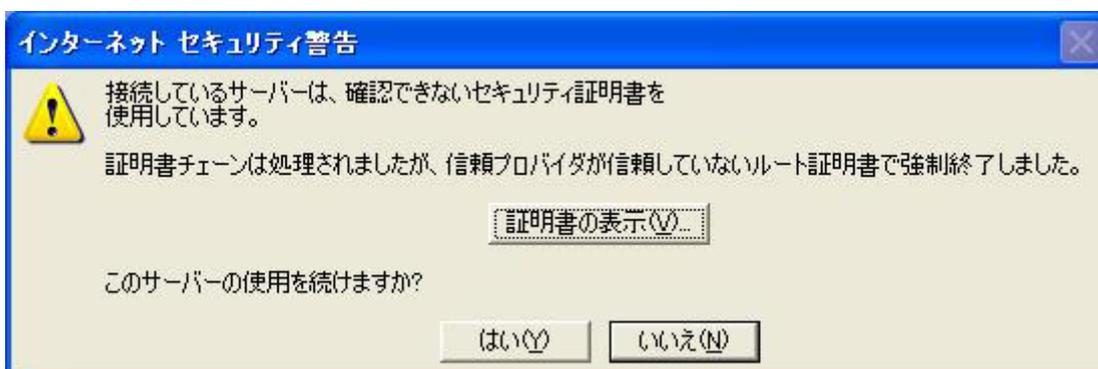
これらの設定が終わったら、「詳細設定」タブを選択します。

- (e) 「受信サーバー」で、「このサーバーは暗号化された接続 (SSL) が必要」にチェックを入れ、値を 995 に変更します。また、「送信サーバー」の値を 587 に変更し、「使用する暗号化接続の種類」を TLS に設定します。



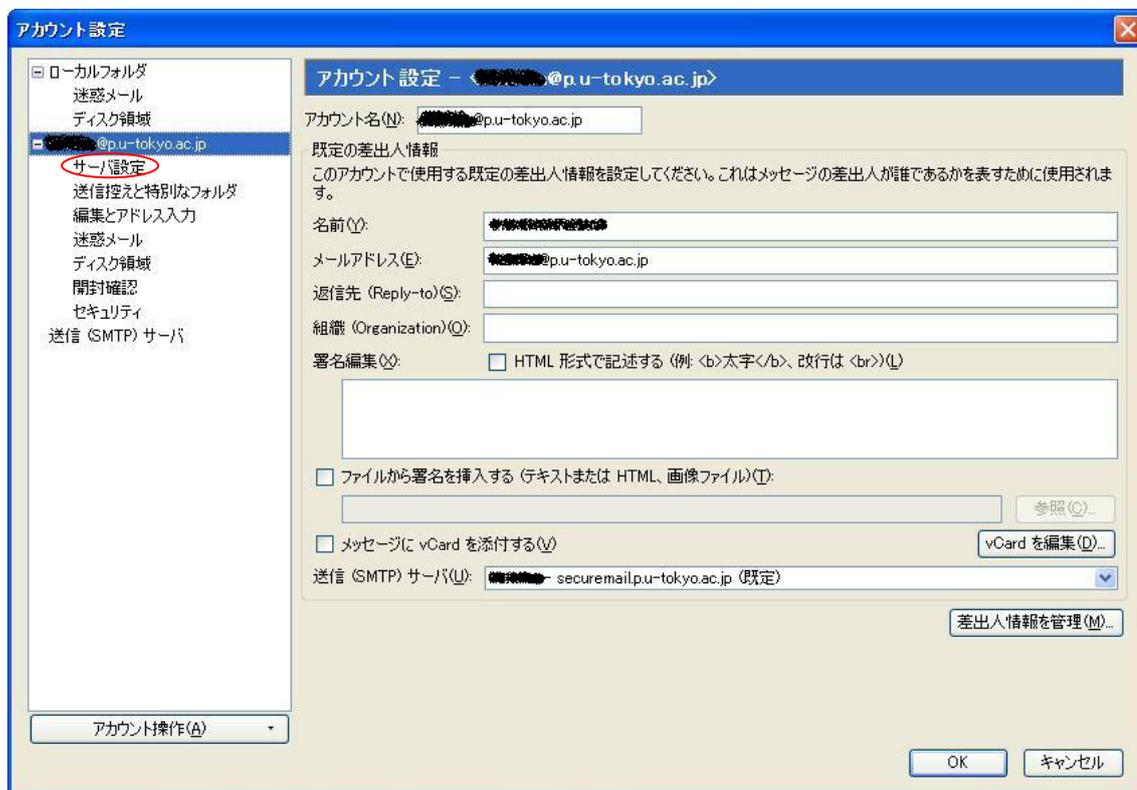
「OK」をクリックして設定を終了します。

※接続時に、以下のようなセキュリティの警告が出ますが、「はい」を選択してください。現在、教育学部の SSL サーバ証明書が自己署名のためこのような警告が出ますが、皆様にとっては「信頼できるサーバ」ですので「はい」で答えて大丈夫です。

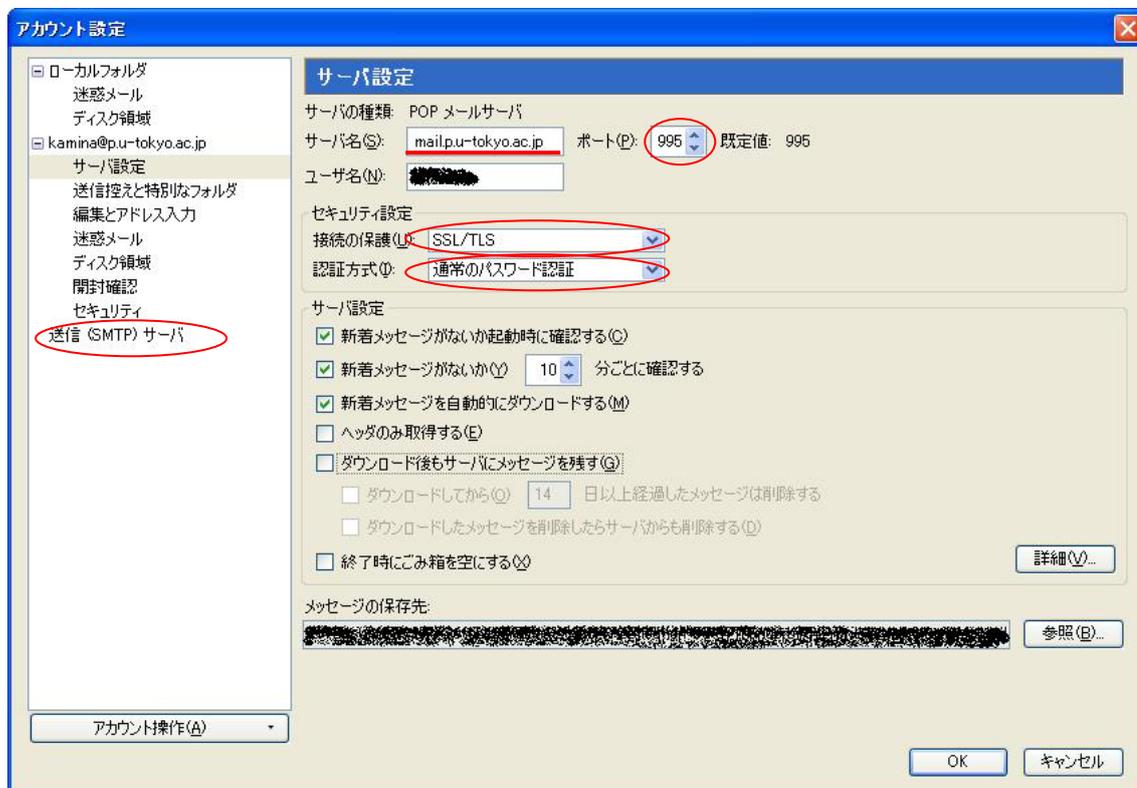


4. Thunderbird の場合

- (a) メニューバーの「ツール」から「アカウント設定」を選択します。以下のようなウィンドウが開くので、「サーバ設定」を選択します。

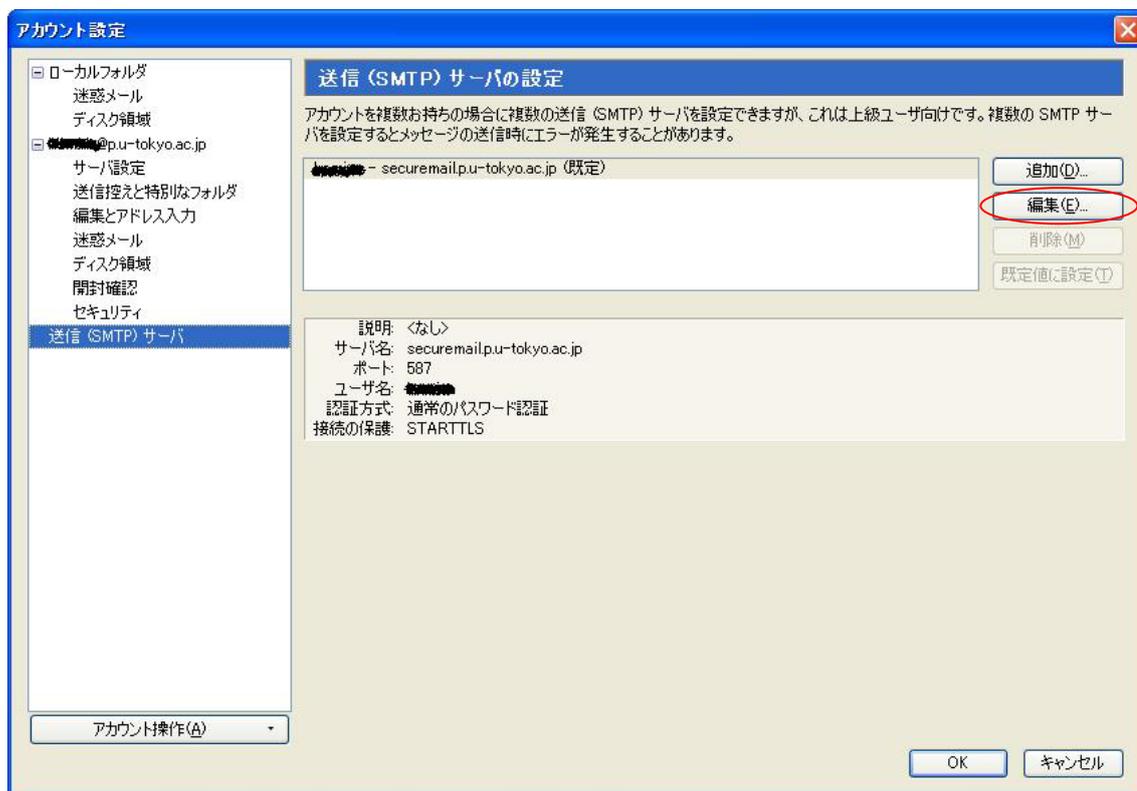


- (b) 「サーバ名」に mail.p.u-tokyo.ac.jp を設定し、「ポート」に 995 を設定します。セキュリティ設定で、「接続の保護」に SSL/TLS を選択し、「認証方式」が 通常のパスワード認証 になっていることを確認します。



これらの設定が終了したら、次に「送信（SMTP）サーバ」を選択します。

- (c) 教育学部のサーバを選択し、「編集」をクリックします。

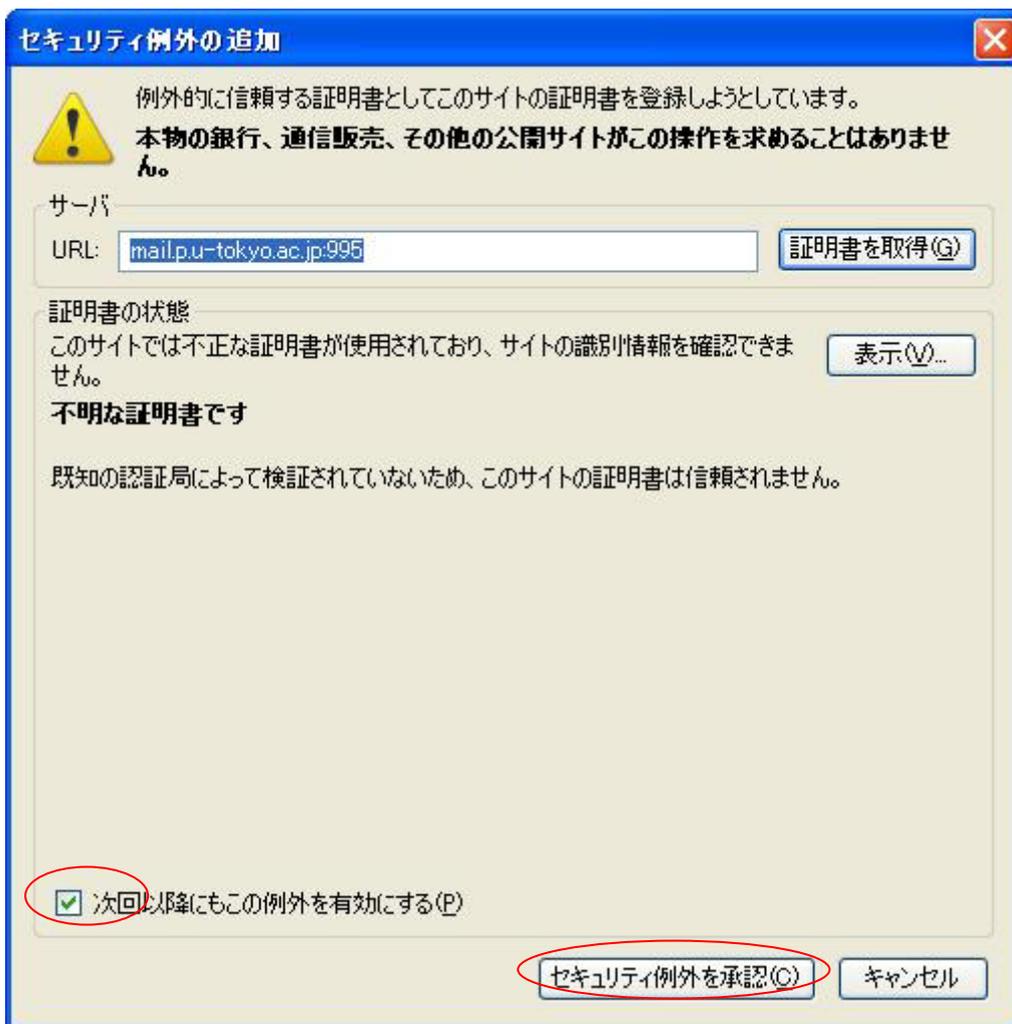


- (d) 「サーバ名」に securemail.p.u-tokyo.ac.jp を、「ポート番号」に 587 を設定します。また、セキュリティと認証で、「接続の保護」に STARTTLS を、「認証方式」に 通常のパスワード認証 を、「ユーザ名」に各自のユーザ名を設定します。



「OK」をクリックして設定を終了します。

※接続時に、以下のようなセキュリティ例外の追加メッセージが出ます。現在、教育学部の SSL サーバ証明書が自己署名のためこのような警告が出ますが、皆様にとっては「信頼できるサーバ」ですので「セキュリティ例外を承認」してください。「次回以降もこの例外を有効にする」にチェックを入れておくと、次からはこのメッセージは出ません。



【重要】送信時には、最初次のようなメッセージが出て送信に失敗します。



この場合、受信時と同様に以下のようなウィンドウが出ているはずですので、「セキュリテ

ィ例外を承認」して送信しなおしてください。「次回以降もこの例外を有効にする」にチェックを入れておくと、次からはこのメッセージは出ません。

セキュリティ例外の追加

 例外的に信頼する証明書としてこのサイトの証明書を登録しようとしています。
本物の銀行、通信販売、その他の公開サイトがこの操作を求めることはありません。

サーバ
URL:

証明書の状態
このサイトでは不正な証明書が使用されており、サイトの識別情報を確認できません。

不明な証明書です

既知の認証局によって検証されていないため、このサイトの証明書は信頼されません。

次回以降にもこの例外を有効にする(P)

5. AL-Mail (Version 1.13b) の場合

※教育学部でのメール送信時の認証 (SMTP-AUTH) の方法に対応している AL-Mail のバージョンは、1.13b になります。それ以外のバージョンをお使いの方は、

<http://www.almail.com/programs/almail32/alm32113b.exe>

より対応しているバージョンをダウンロードしてインストールしてください。

AL-Mail は、残念ながらインストール時の状態では SSL に対応していません。先に、以下の方法で SSL に対応させるプラグインをインストールする必要があります。

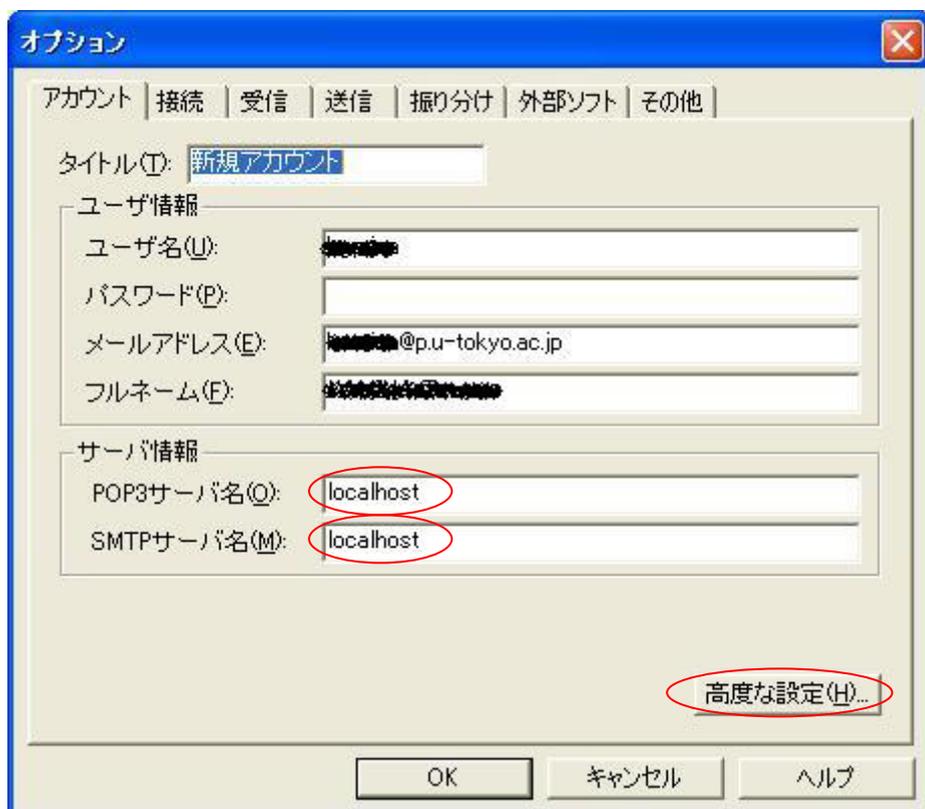
- ・まず、プラグインの作者のサイト

<http://turnede.es.land.to/software.html>

から、SecureTunnel-plugin-20100606.lzh (2011/01/14 現在の最新バージョン) をダウンロードします。

- ・ダウンロードしたファイルを解凍し、securetunnel.dll を AL-Mail32 のプラグインフォルダ (通常は C:\Program Files\Almail32\Plugins) にコピーします。また、ssleay32.dll と libeay32.dll を、almail.exe (アプリケーション本体) があるのと同じフォルダ (通常は C:\Program Files\Almail32) にコピーします。
- ・AL-Mail を再起動します。

- (a) メニューバーの「ツール」から「オプション」を選択します。以下のウィンドウが開くので、「POP3 サーバ名」と「SMTP サーバ名」にそれぞれ localhost を設定します。



次に、「高度な設定」をクリックします。

- (b) 「POP3 ポート番号」に 8110 を、「SMTP ポート番号」に 8025 を設定します。「メール送信時に認証する」にチェックを入れ、「認証方式」に LOGIN を、「ユーザ名」と「パスワード」にそれぞれ各自のユーザ名とパスワードを設定します。

高度な設定

ホスト名(H): [masked]

ドメイン名(D): p.u-tokyo.ac.jp

POP3ポート番号(P): 8110

SMTPポート番号(S): 8025

タイムゾーン(T): [システム値]

APOPで認証する(A)

メール送信時に認証する(C)

認証方式(M): LOGIN

ユーザ名(U): [masked]

パスワード(P): [masked]

OK

キャンセル

既定値に戻す

ヘルプ(H)

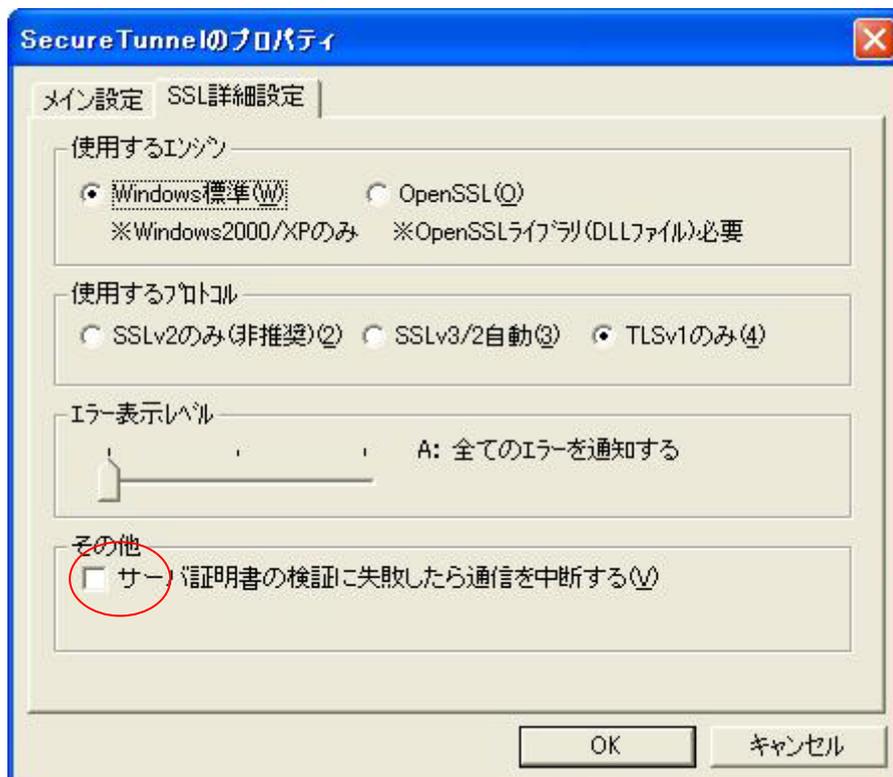
これらの設定が終わったら「OK」をクリックします。

- (c) 次に、メニューバーの「ツール」から「プラグイン・オプション」を選択し、「SecureTunnel」を選択します。以下のようなウィンドウが出るので、POP3 over SSL の「この機能を使う」にチェックを入れ、「localhost のポート番号」に 8110 を、「POP3 サーバ名」に mail.p.u-tokyo.ac.jp を、「POP3 サーバポート番号」に 995 を設定します。また、SMTP over SSL の「この機能を使う」にチェックを入れ、「localhost のポート番号」に 8025 を、「SMTP サーバ名」に securemail.p.u-tokyo.ac.jp を、「SMTP サーバポート番号」に 587 を設定し、「STARTTLS を使う」にチェックを入れます。



これらの設定が終わったら、「SSL 詳細設定」タブを選択します。

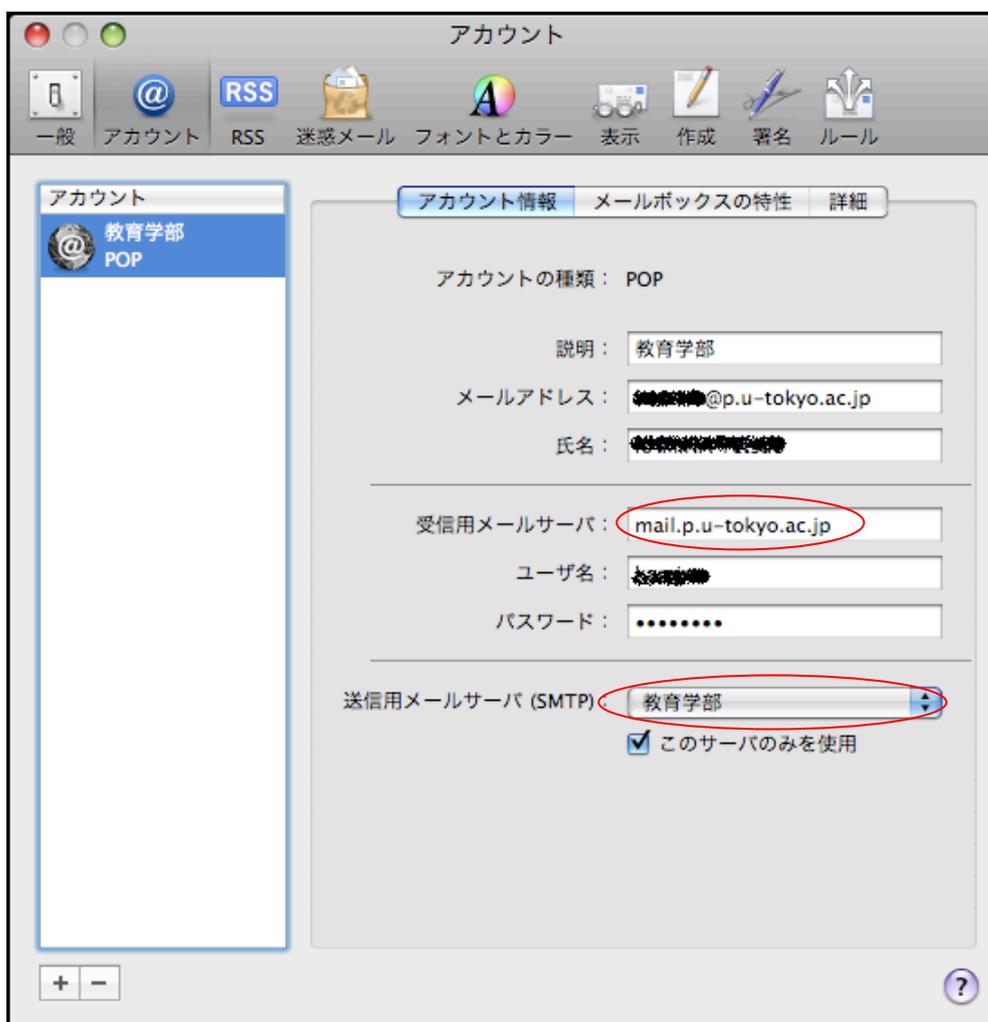
- (d) 「サーバ証明書の検証に失敗したら通信を中断する」のチェックを外します。



「OK」をクリックし、設定を終了します。

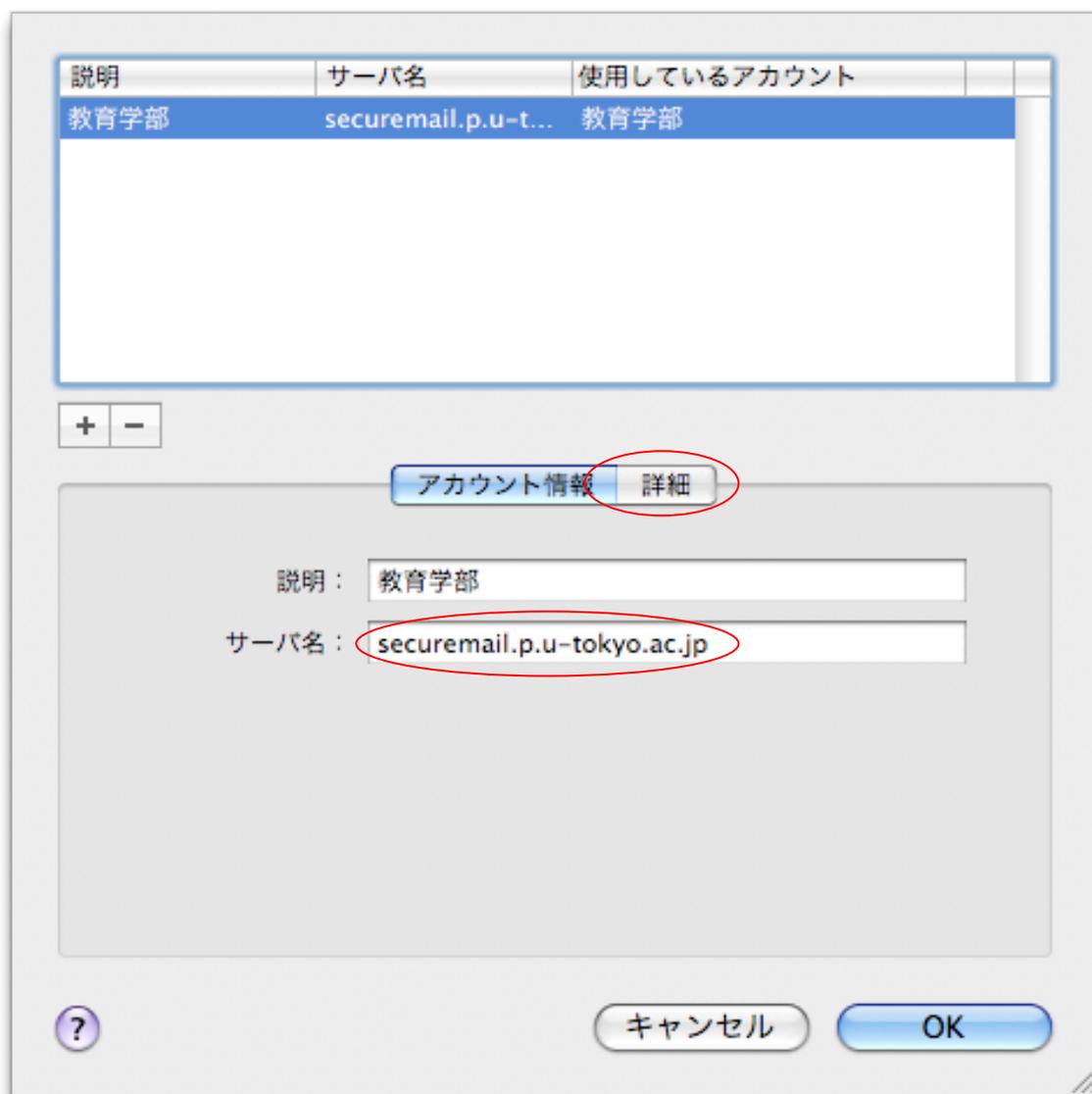
6. Mail (Mac OS X) の場合

- (a) メニューバーの「Mail」から「環境設定」を選択します。「アカウント」を選択すると以下のような画面になります。「受信用メールサーバ」に mail.p.u-tokyo.ac.jp を設定します。



次に、「送信用メールサーバ (SMTP)」から「サーバリストを編集」を選択します。

- (b) 教育学部のメールサーバを選択し、「サーバ名」に securemail.p.u-tokyo.ac.jp を選択します。



次に「詳細」を選択します。

- (c) 「カスタムポートを使用」を選択し、587を設定します。また、「SSL (Secure Sockets Layers) を使用」にチェックを入れます。「認証」に「パスワード」を選択し、「ユーザ名」と「パスワード」にそれぞれ各自のユーザ名とパスワードを設定します。

説明	サーバ名	使用しているアカウント
教育学部	securemail.p.u-t...	教育学部

+ -

アカウント情報 詳細

デフォルトポートを使用 (25, 465, 587)

カスタムポートを使用 : 587

SSL (Secure Sockets Layer) を使用

認証 : パスワード

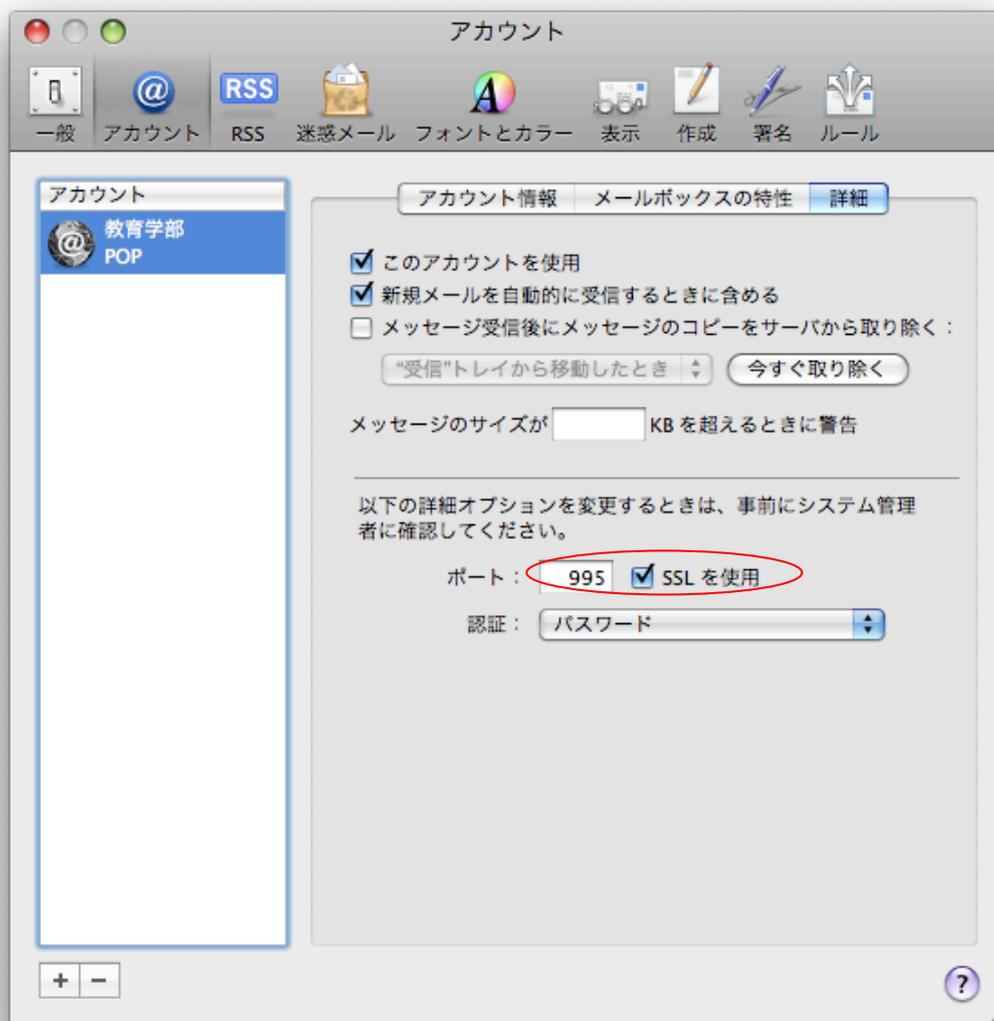
ユーザ名 : ██████████

パスワード : ●●●●●●

? キャンセル OK

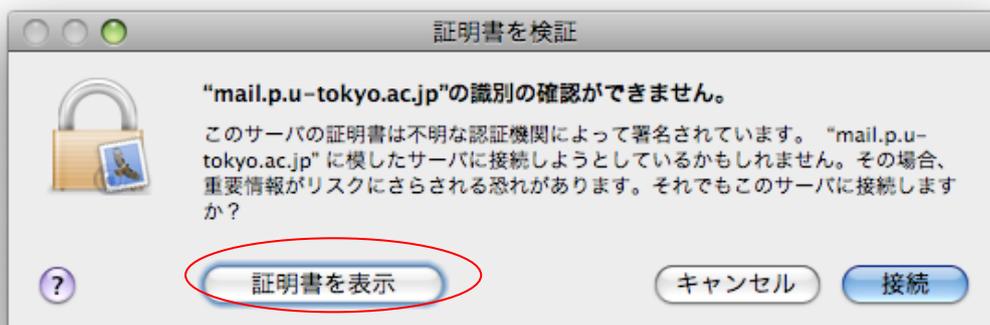
これらの設定が終われば、「OK」をクリックします。

- (d) 次に、「詳細」を選択します。以下のような画面になるので、「ポート」を 995 に設定し、「SSL を使用」にチェックを入れます。

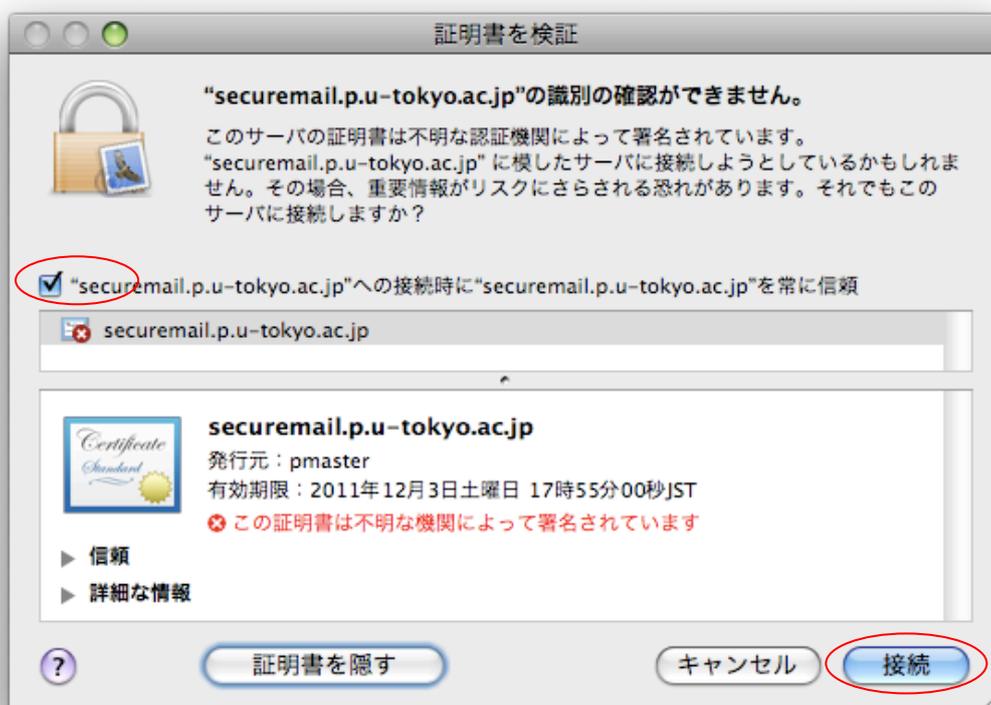


これで設定は終了です。

※メール受信時に、以下のような警告メッセージが出ます。現在、教育学部の SSL サーバ証明書が自己署名のためこのような警告が出ますが、皆様にとっては「信頼できるサーバ」ですので接続して大丈夫です。次回以降、このメッセージを出させないようにするには、「証明書を表示」をクリックします。



以下の画面になるので、「mail.p.u-tokyo.ac.jp」への接続時に「mail.p.u-tokyo.ac.jp」を常に信頼」にチェックを入れて、「接続」をクリックします。



※※メール送信時にも同様の警告メッセージが出ますが、受信のときと同様に対処します。